

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力をあらわしたものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報^{じょうほう}を獲得^{かくとく}する

- ・問題文から情報^{じょうほう}や問題^{じょうけん}の条件^{じょうけん}を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現^{さいげん}する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示^{しじ}通りの操作^{そうさ}を正しく行う

○調べる

- ・方針^{ほうしん}を立て、考えられる場合^{ちやうふく}をまれや重複^{じゅうふく}なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則^{ほうそく}を発見^{はつみん}する

○順序^{じゆんじょ}立てて筋道^{すじみち}をとらえる

- ・変化^{へんか}する状況^{じやうきやう}を時系列^{じけいれつ}で明らかにする
- ・複雑^{ふくざつ}な状況を要素^{ようそ}ごとに順序^{じゆんじょ}立てて整理^{せいり}する
- ・前問^{ぜんもん}が後に続く問^{つづ}いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴^{とくちやうてき}的な部分^{ぶぶん}に注目^{ちゆもく}する

- ・等しい部分^{ぶぶん}に注目^{ちゆもく}する
- ・変化しないものに注目^{ちゆもく}する
- ・際立^{きわだ}った部分^{ぶぶん}（計算式^{けいさんしき}の数^{すう}、素数^{そすう}、約数^{やくすう}、平方数^{へいほうすう}、…など）に注目^{ちゆもく}する
- ・和^さ、差^さや倍数^{ばいすう}関係^{かんけい}に注目^{ちゆもく}する
- ・対称^{たいしやうせい}性に注目^{ちゆもく}する
- ・規則^{きそく}や周期^{しゅうき}に注目^{ちゆもく}する

○一般^{いっぱん}化する

- ・具体的な事例^{ぐたいてき}から、他の状況^{じれい}にもあてはまるような式^{しき}を導き出す
- ・具体的な事例^{ぐたいてき}から、規則^{きそく}やきまりをとらえて活用^{かっくわ}する

○視点^{してん}を変える

- ・図形^{ずけい}を別の視点^{べつてん}で見る
- ・立体^{てい}を平面的^{ていき}にとらえる
- ・多角^{たかく}的な視点^{たいしやう}で対象^{たいしやう}をとらえる

○特定^{じやうきやう}の状況^{じやうきやう}を仮定^{かてい}する

- ・「極端^{きょくたん}な場合^{ばあひ}を想定^{さうてい}して考える（もし全て○なら、もし○○がなければ、…など）
- ・不足^{ふそく}を補^{おぎな}ったり、余分^{よぶん}を切りはなしたりして全体^{しんたい}をとらえる
- ・複数^{ふくすう}のものが移動^{いどう}するとき、特定^{とくてい}のものだけを移動^{いどう}させて状況^{じやうきやう}をとらえる
- ・具体的な数^{すう}をあてはめて考える
- ・解答^{かいとう}の範囲^{はんい}や大きさの見当^{けんたう}をつける

思考スキル

○知識^{ちしき}

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識^{ちしき}を想起する
- ・ 想起した知識を正しく運用する

○理由^{りゆう}

- ・ 筆者の意見や判断の根拠^{こんきよ}を示す
- ・ ある出来事の原因^{げんいん}、結果^{けっか}となることを示す
- ・ 現象^{げんしょう}の背後^{はいご}にあることを明らかにする

○置き換え^か

- ・ 問いを別^{べつ}の形で言い表す
- ・ 問題^{じょうきよう}の状況を図表などに表す
- ・ 未知^{みち}のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数^ひと比を自由に行き来する

○比較^{ひかく}

- ・ 多角的な視点^{してん}で複数のことがらを比べる
- ・ 複数のことがらの共通点^{きょうつうてん}を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異^{さいい}を明確^{めいかく}にする

○分類^{ぶんるい}

- ・ 個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点^{きょうつうてん}、相違点^{そういてん}に着目して、情報を切り分けていく

○具体・抽象^{ちゅうしやう}

- ・ 文章から筆者の挙げる例^{れい}、特定の状況^{しんじょう}や心情を取り出す
- ・ ある特徴^{とくちよう}を持つものを示す
- ・ 個々の事例から具体的な要素^{のぞ}を除いて形式化する
- ・ 個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・ 情報どうしを結び付ける
- ・ 要素間の意味^{とら}を捉え、情報^{おぎな}を補う
- ・ 部分と全体のそれぞれが互^{たが}いに与えあう影響^{えいきやう}に目を向ける
- ・ ある目的^{しゅだん}のための手段となることを見つけ出す

○推論^{すいろん}

- ・ 情報をもとに、論理的^{ろんりてき}な帰結^{きけつ}を導き出す
- ・ 情報をもとに、未来^{みらい}・過去^{かこ}のことを予測^{よそく}する
- ・ 情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

小学4年 基礎力テスト (国・算) —— 解答と解説

算数 (国語と算数あわせて40分)

1

(1)	585	(2)	222	(3)	576	(4)	8
21		22		23		24	
(5)	8.3	(6)	1.5	(7)	$\frac{4}{5}$		
25		26		27			

2

(1)	6	きやく	(2)	午前	9	時	27	分	(3)	36	cm
28					(完答) 29					30	

(4)	32	cm	(5)	①	×10 (=60)	②	2	倍
31					32			33

(6)	①	150	m	②	400	m
34				35		

3

(1)	12	まい	(2)	4	まい	(3)	3200	円
36			37			38		

4

(1)	①	16	②	水	曜日
39			40		
(2)	イ	29	曜日	火	曜日
(完答) 41					

国語

（国語と算数あわせて四十分）

問九	問六	問二	問一
A			a
落	イ	ウ	世間
と	問七	問三	b
し	ア	ア	急
て	問八	問四	c
B	イ	エ	遊
失		問五	d
礼		ウ	寒
(完答) 54			e
			元気

（配点）

算数

- ① 各 2 点 × 7 = 14 点
- ② 各 2 点 × 8 = 16 点
- ③ (1)(2)各 3 点 × 2 = 6 点、(3) 4 点
- ④ (1)各 3 点 × 2 = 6 点、(2) 4 点

国語

問一……各 2 点 × 5 = 10 点
 問二～問九……各 5 点 × 8 = 40 点
 計 100 点

【解 説】

② いろいろな文章題

(1) **A1** 再現する

$33 \div 6 = 5$ (きやく) あまり 3 (人)

あまりの3人がすわるのにもう1きやくいるので、 $5 + 1 = 6$ (きやく)

(2) **A1** 再現する

午前10時12分 - 45分 = 午前9時27分

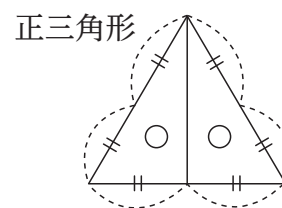
1時間=60分なので、筆算すると右のようになります。

$$\begin{array}{r} 60\text{分} \\ 9 \curvearrowright \\ \text{午前} 10\text{時} 12\text{分} \\ - \quad 45\text{分} \\ \hline \text{午前} 9\text{時} 27\text{分} \end{array}$$

(3) **A1** 知識 特徴的な部分に注目する

右の図のように、使った三角じょうぎの1番長い^{へん}の長さは、
いちばん短い辺の長さの2倍になっているので、 $6 \times 2 = 12$ (cm)

よって、 $(6 + 12) \times 2 = 36$ (cm)



(4) **A1** 特徴的な部分に注目する

ボール1個の直径^{こちようけい} = $24 \div 3 = 8$ (cm)

4個を1列にならべると、 $8 \times 4 = 32$ (cm)

(5) ① **A1** 置き換え

弟の持っているカード 枚の10倍が60枚なので、 $\times 10 = 60$

② **A2** 順序立てて筋道をとらえる

弟の持っているカードのまい数は、 = $60 \div 10 = 6$ (まい)

同様に、ひろしさんの持っているカードのまい数は $60 \div 5 = 12$ (まい)

よって、 $12 \div 6 = 2$ (倍)

(6) ① **A2** 再現する 置き換え

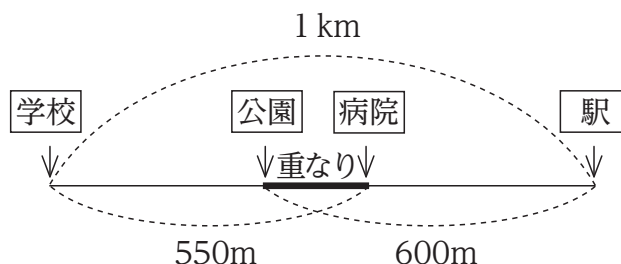
公園から病院までのきよりは、

学校から病院までの550mと

公園から駅までの600mの両方に
ふくまれています。

1 km = 1000mなので、

$600 + 550 - 1000 = 150$ (m)



② **A2** 順序立てて筋道をとらえる

$550 - 150 = 400$ (m)

3 表と整理

- (1) **A2** 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる 置き換え

グラフの1めもりは1まいを表しています。

グラフより、500円玉：4まい 100円玉：8まい 50円玉：6まい

合計＝4＋8＋6＝18（まい）

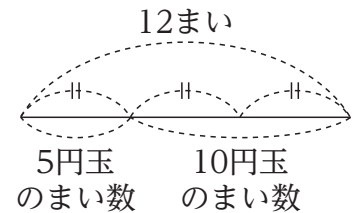
10円玉と5円玉のまい数＝30－18＝12（まい）

- (2) **B1** 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる 置き換え

10円玉のまい数は5円玉の2倍なので、

右の図のようになります。

5円玉のまい数＝12÷3＝4（まい）



- (3) **B1** 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる

(2) より、10円玉のまい数＝4×2＝8（まい）

500円玉の合計金額：500×4＝2000（円）

100円玉の合計金額：100×8＝800（円）

50円玉の合計金額：50×6＝300（円）

10円玉の合計金額：10×8＝80（円）

5円玉の合計金額：5×4＝20（円）

合計金額：2000＋800＋300＋80＋20＝3200（円）

4 大小と位置を調べる

- (1) ① **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 置き換え

カレンダーの4つのます目の数字は、右の表のように右方向に1ずつ、
下方向に7ずつ大きくなっています。

ア＝24－1－7＝16

表2

		→ +1
+7 ↓	ア	
		↓ +7
		→ +1
		24

- ② **B1** 置き換え 順序立てて筋道をとらえる

16－7＝9なので、16日は9日のちょうど一週間後です。

よって、水曜日

火曜日	水曜日	木曜日
1	2	
8	9	
	16	17
	23	24

(2) **B1** 置き換え 順序立てて筋道をとらえる

いちばん小さい左上の数字をAとすると、
4つの数字の関係は、右の図1のようになります。

これら4つの数字を線の長さで表すと、
右の図2になります。

$1 + 7 + 8 = 16$ 、 $100 - 16 = 84$ なので、
Aは $84 \div 4 = 21$ (日) です。

したがって、イ = $21 + 8 = \underline{29}$

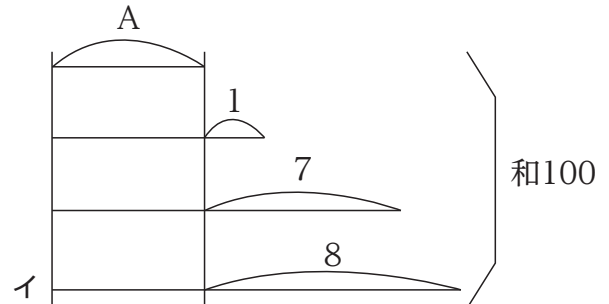
22日と29日は、(1)の②でもとめた表の23日の
1日手前の曜日で、火(曜日)

表1、表2、表3を合わせると、右のようになります。

図1

A	A + 1
A + 7	A + 8 (イ)

図2



月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
	1	2	
	8	9	
		16	17
21	22	23	24
28	29		

小川未明『お姉ちゃんといわれて』（青空文庫）から出題しました。登場人物たちの表情や行動から気持ちを読みとりましょう。

問一 A2 知識

三年生までの漢字を問う問題です。とめやはねまで、ていねいに書きましょう。

問二 B1 関係づけ

線①の内容は直前のおばあさんのセリフから抜き出します。おばあさんの話を要約すると、光子のおばあさんに対する態度がおかしい、なにやら怒っているようだ、ということと、どうして怒っているのかお母さんから聞き出してくれ、ということです。お母さんは「そんなことがあったのですか」と驚いているので、「そんなこと」が指すのはセリフの前半部分の内容です。ア・イ・エの内容はおばあさんの話からは読み取れないことです。

問三 B1 関係づけ

光子の無礼をわびたお母さんに、おばあさんは「そんなつもりでいったのではない」と答えています。光子が無礼な態度をとっていることを母親に知らせ、謝罪させるつもりはなかった、ということです。

問四 B1 理由

線③の直前の「そんなまね」とは、光子がおばあさんに「お姉ちゃんと声をかけ」られたのに、「下を向いてにげていって」しまったこと、すなわちおばあさんを見無視したことを指します。お母さんは、光子の行動を恥ずかしく思ったのだと考えられます。ア「おばあさんの怒りがまだおさまらない」「イ「何も考えられなくなるほど動揺」、ウ「告げ口：おばあさんに腹が立った」の部分が本文の内容とあいません。

問五 A1 知識

「きまりの（が）わるい」とは、体裁がわるくてばつが悪い、はずかしいという意味です。面目が立たない、とは人にあわせる顔がないこと、人前にたてないほどはづかしい、という意味です。

問六 B1 理由 推論

線⑤の直前に「これにはなにか理由があると、察せられて」とあります。お母さんは、光子に失礼な態度をとった理由を話させようとしているのです。光子が自分の気持ちをそのまま言える、安心できる状況を作るために、やさしく声をかけたのでしょう。ですから答えはイです。アの内容は、光子の気持ちを聞いてからわかったことです。エ「いいがかり」の部分が本文の内容とあいません。ウ「はげまして」あげたいという気持ちもないとはいえませんが、直前の「理由があると、察せられて」の部分が明確な根拠としてあるイのほうがより適切であるといえます。

問七 B1 関係づけ 推論

光子は、「お姉ちゃん」として、自分よりも小さいものの、守らなければならぬものを「だっこしたい」という純粋な思いを強く持っています。その思いがかなわず、おばあさんに失礼な態度をとったのは子どもっぽいともいえますが、一方で純粋なやさしさからくる子どもらしさにあふれているともいえます。今回は、その純粋な子供らしさが不器用な形で出てしまっただけのことです。このような光子に対するお母さんの思いを読みとりましょう。イ・エはどちらもマイナスのニュアンスがある言葉ですから、ここでは不適切です。ウ「かたじけなく（い）」はありがたい、自分にはもったいないという意味です。ここでは、アの幼い者が一生懸命なようすがかわいそうだと思う「いじらしく（い）」が正解でしょう。

問八 B1 推論

「あてはまらないもの」を選ぶ問題です。おばあさんは、今の光子に赤ちゃんをだっこさせては危険だと判断したから、光子に赤ちゃんをだっこさせませんでした。ですから「だっこさせてあげなかったことをくやむ気持ち」はありません。

問九 B1 関係づけ

線⑧の直前に「そんなことに気のつかなかった」とあります。「もしおばあさんが：おおわしてくれなかったら、（赤ちゃん）落としてしまったかもしれ」ないことにも気がつかなかった、ということと、赤ちゃんをだっこしたいという自分の思いばかりにとらわれて、それが叶わないからとおばあさ

んをうらんたり、おばあさんを無視したりしたことを「わるかった」と反省
しているのです。この部分からあてはまる言葉を探しましょう。 B おば
あさんを見無視したことは「失礼な態度」だと ㊤の二行後で示されています。
※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。